

立命館大学人間科学研究所主催

医療・福祉における地域・住民・エンパワメント研究プロジェクト(CEHSOC)

男性介護研究会 2008年度 第4回研究会

高齢者虐待を考える —最新統計調査から—

06年の高齢者虐待防止法施行で、虐待への監視の目は広がっているにもかかわらず、高齢者に対する虐待は増加傾向にあるといわれています。その原因は、家族内の介護疲れのストレスなどにあるといわれ、特に介護における虐待や無理心中は男性に多いと報告されています。これはなぜでしょうか？男性介護者の課題は何でしょうか？

今回の研究会では、地域包括支援センターで、高齢者虐待の相談や対応をされている末長秀教さんをお招きして、その実態や背景、対応についてお話を伺い、家族介護者が虐待を引き起こさないために何が必要なのかを考えます。

日時：2008年11月8日(土) 13時30分～15時30分

場所：立命館大学衣笠キャンパス 学而館 第1研究会室（2階）

※今回は「創思館」ではありませんので、ご注意下さい。

講師：末長秀教さん

大阪市生野区社会福祉協議会 生野地域包括支援センター主査

※参加費無料 どなたでもご参加いただけます。
お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

【問い合わせ先】

立命館大学人間科学研究所（人文社会リサーチオフィス）

TEL:075-465-8358 FAX:075-465-8245

津止研究室

TEL:075-466-3317 FAX:075-465-8249